

クラッシー

CLASSY

ワンランク上の暮らしを考える人の情報紙

クラッシーのバックナンバーがインターネットでご覧になれます。「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

4 APR

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター  
企画 イースタンコミュニケーションズ  
印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111  
八女市祈禱院5 6 3 〒834-0025  
HP:www.dcity-yame.com  
E-mail higashikeitei@tea.ocn.ne.jp

|   |    |    |    |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|----|----|----|
|   | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|   |    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5 | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
|   | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
|   | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|   | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

| 日 SUN                                                     | 月 MON                                                            | 火 TUE           | 水 WED                                                                                                                                                                                  | 木 THU                                       | 金 FRI                                                                                                                                                                                                                                                                            | 土 SAT                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                           | 1<br>2月26日<br>先負<br>べんがらの日(べんがら村)<br>大浴場お一人様300円                 | 2<br>27日<br>仏滅  | 3<br>28日<br>大安                                                                                                                                                                         | 4<br>29日<br>赤口                              | 5<br>3月1日<br>先負<br>なんでも人権相談所<br>(八女市社会福祉会館)<br>八女筑後看護専門学校<br>入学式                                                                                                                                                                                                                 | 6<br>2日<br>仏滅                                                                            |
| 7<br>3日<br>大安                                             | 8<br>4日<br>赤口<br>釈迦堂甘茶まつり<br>(八女市亀甲)                             | 9<br>5日<br>先勝   | 10<br>6日<br>友引<br>なんでも人権相談所<br>(筑後市中央公民館)<br>(立花市民センター)                                                                                                                                | 11<br>7日<br>先負                              | 12<br>8日<br>仏滅<br>なんでも人権相談所<br>(地域交流センター)                                                                                                                                                                                                                                        | 13<br>9日<br>大安                                                                           |
| 14<br>10日<br>赤口                                           | 15<br>三りんぼう<br>先勝<br>べんがらの日(べんがら村)<br>大浴場お一人様300円                | 16<br>12日<br>友引 | 17<br>13日<br>先負                                                                                                                                                                        | 18<br>14日<br>仏滅<br>なんでも人権相談所<br>(広川町はなやぎの里) | 19<br>15日<br>大安                                                                                                                                                                                                                                                                  | 20<br>16日<br>赤口<br>人生史サークル黄檗の会<br>(八女福祉会館)<br>UGEスプリングコンサート<br>～春の発表会～<br>18:30 開演(入場無料) |
| 21<br>17日<br>先勝<br>綾戸智恵<br>DO JAZZ LIVE<br>16:00 開演       | 22<br>18日<br>友引                                                  | 23<br>19日<br>先負 | 24<br>20日<br>仏滅                                                                                                                                                                        | 25<br>21日<br>大安                             | 26<br>22日<br>赤口<br>お風呂の日(特典あります)<br>(グリーンピア八女(公園の宿)<br>(温泉館きらら)(べんがら村)                                                                                                                                                                                                           | 27<br>三りんぼう<br>先勝<br>れんげ祭り<br>27・28日(北山男ノ子焼の里)<br>劇団リトルウィング<br>「RPG～勇者の作り方～」<br>18:00 開演 |
| 28<br>24日<br>友引<br>劇団リトルウィング<br>「RPG～勇者の作り方～」<br>14:00 開演 | 29<br>25日<br>先負<br>昭和の日<br>三良裕亮 & 上野芽実<br>ジョイントコンサート<br>16:00 開演 | 30<br>26日<br>仏滅 | ライナー・キュッヒル&福田進一<br>デュオコンサート<br>日時 5月26日(日) 15:00～<br>会場 おりなす八女<br>■ペア3組6名様へチケットプレゼント<br>ご希望の方は氏名・住所・TEL・を明記の上<br>(株) 東兄弟へハガキで応募ください。4月<br>10日締め切り。応募多数の時は抽選によ<br>ります。招待券の発送をもって発表とします。 |                                             | ●4月の筑後市立図書館●<br>●おはなし会<br>毎週土曜日、幼児から小学生を対象<br>時間:11:00～(30分程度)第3土曜日は英語絵本の読み聞かせ<br>●子どもの読書週間企画「募集!チャイルドライブラリアン」<br>4月20日(土)・21日(日)・27日(土)・28日(日)・5月11日(土)・12<br>日(日)各日10:00～12:00<br>カウンターでの対応や本の整理・修理、絵本の読み聞かせを体<br>験してみませんか?小学生～高校生まで。<br>4月9日(火)9:30より受付開始。<br>図書館カウンター、又はお電話で |                                                                                          |

■紫苑句会  
菅公の園や梅の香人いきれ  
日の透きし菰に牡丹の笑む如し  
観梅や娘とつれだちて佇めり  
指そらす阿吽の仁王や梅匂ふ  
草萌ゆる資料館へのなぞへ道

■睦会  
大小の喜びありて梅蕾む  
とつとつの夫婦の会話炬燵聞く  
針供養錆たる膝をさすりけり  
節分や打たれ上手な鬼ねらう  
大寒や裸の女子の凛として  
這ひ這ひの一步踏み出す春座敷  
長閑なる小庭いじりの至福かな

■立花俳句会  
兜太の忌選受けし句を短冊に  
初電話異国の孫の声近し  
城下町石段彩るひな人形  
寒燈に友が待つ間の救急車  
太鼓打つ孫には強き冬の雨  
寒風に葎ハウスのミニラジオ  
元号を永楽として春を待つ

■上陽町陽泉俳句会  
命名を返上します犬ふぐり  
忘れ物探しに畑へ冬帽子  
飼猫に野性を見たり春の闇  
梅ふふむ北方領土いつ還る  
日脚伸ぶ鋸鎌一本新調す  
くり返し見る絵手紙や木の芽雨  
白梅に蜜蜂飛び交ひ空青し

梅が香も背負い診察室を出る  
由緒ある鉢に納まる座敷梅  
節分や幼は拾ふひいふうみ  
梅誉めて回覧渡しそこねけり  
一枝の白梅香り部屋に満つ

■ひろかわ俳句会  
法要の春陽仄かに御堂かな  
梅が香や卑弥呼の里に日矢の東  
山裾を染めたる白き梅の里  
紅梅に添う白梅の凛として  
親子句碑包む古木の梅香る  
越し先の暮しや如何に梅便り  
梅が香も背負い診察室を出る  
由緒ある鉢に納まる座敷梅  
節分や幼は拾ふひいふうみ  
梅誉めて回覧渡しそこねけり  
一枝の白梅香り部屋に満つ

堤多鶴子  
牛島景子  
松延みさと  
井上トシ子  
中川原篤子

穴見ミキエ  
伊藤幸子  
大坪榮子  
松尾和子  
城戸貞義  
松尾貞義  
大田眞紗子

平田清香  
武田行夫  
深町和子  
原宣子  
西島志乃美  
中村テルコ  
吉泉守峰

中村境子  
大坪延子  
倉ノ下和代  
城後正子  
大坪清香  
荒川ミヤ子  
吉泉守峰

結束節子  
山崎陽子  
一瀬砂智子  
野中勝美  
美座時朗  
柴田眞理  
水本朝美  
松延司  
酒井辰次  
水本辰次

原口あつ美

## 今月の山柳



春爛漫、天に桜、地に菜の花が咲き競い、蝶は舞い小鳥は歌う、その中で花達の息づかいが聞こえてくるような、年寄りにても、一年中で一番楽しく嬉しい季節がやって来ました。

八女川柳会 安達 昇



筑後市西牟田

田島 眞由美

## 今月の色



黒

最古の色名の一つ。最も暗い色の総称。語源は暗い、暮れるという説が多いです。

視覚デザイン研究所「和の色のものがたり」より



南国で冬を過ごした燕たちが帰ってくる季節。燕尾服の名の由来という黒い背中と白いお腹、高速で飛び回り急旋回する姿は早いものの代名詞として、JR特急つばめや新幹線つばめ号にも命名されている。私たちの暮らしの中にもなじんで、油断すると倉庫や車庫、軒下などに巣をつくるやつかい者である。燕が巣をつくと縁起がいいとか、巣のある家は栄えるといつて先人は昔から燕を大切にしていた。大きな口をあけて餌をねだる雛たち、次々に餌を運ぶ親たち、間もなくそんな光景が見られる。

## お釈迦さん

4月8日は花まつり「お釈迦さん」です。今もお釈迦様の像の頭から甘茶をかけてお参りする行事が続いている所を見かけます。

お釈迦さんといえば天道花と甘茶を思い出します。

子供のころ、物を仲間からもらったら、「オ天道サン オ天道サン二見一セタ」とかざして素早く唱えます。もらっても、前言を翻して取り戻されることもあるわけです。

証としてまずお天道さんにかざして見せておけば、絶対にもう取り戻せないと子供同士の掟がありました。また「お天道さんに面向けされんごたるこた すんな」とも戒められたものです。「お天道さん」は絶対の権威を意味し、「天竺」は無限の象徴でもあったのです。

又甘茶で髪を洗うと髪が黒くなる、顔を洗うと出来物ができないと言



ます。これで墨をすって字を習うと、上手になると言います。いくら言い伝えとはいえ、信じ得るということは昔の人にとって一つの救いではなかったのでしょうか。

時代は変わっても、心の拠り所として何か一つぐらひは信じられるというものが欲しいものです。

「八女の方言」内山一兄・郷田敏男著より

## 教師道

⑬

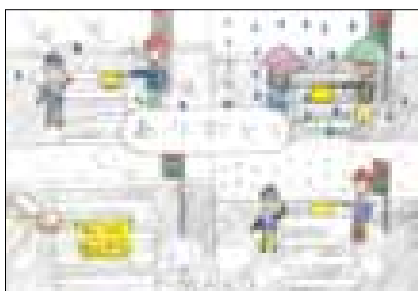
森下 計二

「通学路の（おじ）さんへ いつも見守りありがとう」

そんな文字が印刷されている手紙を今年六年生で登校班長になる男の子からもらいました。学校で渡すようにいわれたらしい。

「雨の日も風の日も、雪の日も毎朝、僕たちのためにあいさつしてくれてありがとう。あと、ゴミ拾いや草取りをして、道路の横断を守ってくれてありがとう。僕たちも、全員無事に進級して新しい学年になりました。これからがんばって勉強するので、よろしくお願いします。おじいさんも体に気をつけて元気にいてください。」

中にそう鉛筆で書いてありました。



## 新入学、新学期を前に、子どもの犯罪被害予防についてまとめました。

こんにちは。  
筑後警察署です。

⑤⑥

全国で子どもに対する声かけや、つきまといいた事案が相次いでおり、これらの被害を防止するためには、日ごろから子ども自身が犯罪の被害にあわないための心構えを身につけておくとともに、保護者や地域の方で、子どもの安全を守るために気を配っていくことが重要です。

### 【子どもに教えておくべきこと】

- ① 見えにくい場所や暗い場所等、危険な場所に近づかない。
- ② 子ども110番の家など、いざという時に逃げ込める場所を知っておく。
- ③ 外へ出かけるときは、家族に行き先と帰る時間を告げるようにする。

### 【保護者や地域の方へのお願い】

- ① 子どもが集まる場所に目を配る。
- ② 一人にいる子どもに目を配る。
- ③ あいさつ等、普段から子どもに声かけをしておく。
- ④ 危険な場所にいる子どもに声をかける。

住民同士の強い絆で、地域から犯罪者を追い出し、子どもが安心して暮らせる地域づくりを目指しましょう。



## 4月の道の駅たちばな





健康よもやま話 ④



姫野病院：松浦 緑郎  
(健康管理士一般指導員)

● E D

女性の方は「ED」という言葉にあまり馴染みがないかもしれませんが、正しくは“Erectile Dysfunction”の略で、男性の勃起障害の意味です。その定義は、「満足のいく性行為を行うだけの勃起、およびその状態の維持が持続的に不可能な状態」とされています。



ここまで読むと、「ED」などと、もったいぶった言い方をしているけど、要は、“インポテンツ”（通称：インポ）Im(No) Potenz(Power)：不能”と同じじゃないか、と気付かれた方もいるかと思いますが、確かに“ED”と“インポテンツ”は同じです。

EDという言葉が目立つのは、インポテンツとか不能と事実をそのまま言ってしまうとは露骨すぎるというので使われなくなったのです。世の中、すべて思いやりの時代というわけですが、インポテンツをEDと言い換えてみても、当人の悩みが軽くなるわけではありませんから、あまり意味がないことは確かです。

さて、EDの原因は「器質的」と「機能的」に2つに分けられます。このうち器質的というのは、動脈硬化から陰茎に十分な血液が流れ込まないことや勃起を促す脊髄神経が遮断されたこと、さらには怪我などによるものがありますが、こうした例は実際にはそれほど多くはないようです。

それよりも圧倒的に多いのは機能的原因によるもので、こちらのほうは体はどこも悪くないのに、精神的な理由から不能になるのです。このように書くと、どうして精神的理由でEDになるのか不思議に思う方もいるかもしれませんが、陰茎は気持ちの持ちようで大きくも、小さくもなるのであり、男の性は女性が考えている以上にナイーブでデリケートとなのです。

つまり、女性がその事実を知り理解することがED治療の原点であり、この意味からも妻や恋人は医師・看護師であり、ときに加害者にもなりえるわけです。女性はEDの男に対して、その性を受け入れるだけではなく、助け、包容していく姿勢も必要です。

西公民館の絵手紙教室、「彩和の会」に参加して、数年になります。大坪先生の手ほどきをあてに、なかなか上手くなりませんが、持ち寄った草花や果実を愛でながら描くのは、至福の時間です。同窓会を機に、友達と文通が再開し、かこさとしさんの絵葉書きが届きました。「おたよりかこう、おへんじだそう」という挨拶文が載っていました。大変共感いたしました。これからも、絵筆を持つ事を心掛け、先生や会の皆様とのお縁を大切に、精進していきたいものです。



八女市新庄  
服部 暢子

アジサイの「ロウ画」



筑後ジュニア展 金賞  
福島中2年 伊藤 奈央

庭先に咲いたアジサイを題材にした。水彩で描き上げるのに約一カ月ほどかかった。

枯れはじめた花もあつたがそれぞれの持つ色は美しい。バックまで水彩絵の具で描きあげたとき、画用紙全面に「ロウ」を力強く塗らせた。「ロウ」は透明である。アジサイもバックも消えない。つぎにアジサイの花びらを五寸クギで力強く輪郭をとらせ、バックにも適当にクギで傷をいれると削られた「ロウ」は、はげ落ちた。つぎに画面全体に毛筆で墨液を丹念に力強く塗らせた。とくにクギ跡には。墨液が完全にかわ

くのを待って、ナイフで全画面の「ロウ」を削って仕上げたのがこの作品である。削りのこされた墨液が不思議な効果を生んでいる。さらにバックの処理にはクレパスも加えさせた。絵を描くのに法則は無い。材料にも。鉛筆一本で描いても絵である。それに枯れた花も美しいということをお春期の中学生に体得してほしかった。作者は見事にこたえ、この絵に賞を与えた主催者の慧眼にも感謝したい。

子どもの絵の教室 杉山 亜土



野鳥ウォッチング ⑦  
タシギ

タシギはシギの仲間では中型で、旅鳥として冬にやってきます。

水田で見ることができ、くちばしで泥を探りミミズや虫類を食べ、近づくと「ジャーツ」と鳴き飛び立ちます。

矢部村 栗原 浩暢

「八女農みらい館」は15周年 ありがとうございます 八女農業高等学校

みらい館では、レンゲ・アイガモ農法で栽培した「レンアイ米」、新鮮な卵・野菜・果物、季節の花苗や鉢花・切り花、ペットボトル茶の「八農高茶（はつのこうちゃ）」や煎茶、福岡県6次化商品コンクールで奨励賞を受賞した「玉露のめぐみ（玉露クッキー）」や各種ジャム・焼き立てパン・焼き肉のたれ、本校の茶葉と卵を使用した「お茶クッキー」、堆肥やぼかし肥料など、たくさんの農産物や加工品を販売しています。3年生が販売実習をしています。自ら栽培・飼育・加工した農産物を販売し、地域の方々と交流をすることで、生徒の学習意欲向上にも効果を上げています。また、システム園芸科による季節の花の販売や寄せ植え講習などもしておりますので、ご協力よろしくお願いします。

4月の校内販売所(みらい館)の開館日

2日(火)、5日(金)、16日(火)、19日(金)、23日(火)、26日(金)

販売時間は、10時30分～15時30分です。

(※4月2日(火)・5日(金)の販売時間は、12時30分まで)

呟き

芽吹くとき

なんて所に来てしまったんだ。私にはできない……。小学校・高校までの発達障がいを持つ児童支援施設で働き始めた初日、余りの事の重大さと支援の大変さに胸の中でつぶやく。言葉を発せない、トイレで用を足せない、感情をコントロールできない：そんな様々な子ども達とどう対応すればよいの？と、戸惑うばかりの日々。それから3年。たとえ言葉を発することができなくても気持ちに繋がった時の喜び。何かをできるようになった成長の姿を見た時の感動。毎日それらが積み重なっている。この春、3名が高校を卒業し社会人となる。一人の彼女とは女性同士として何でも話す。「あら、お互いに今日は生理中やね。じゃ静かに机で卓球をやるうか」と言いながらゲラゲラ笑って卓球をした。いつも明るかった彼女。それが最後の利用日だ。一人の彼は、3年前はマットに寝そべるだけで動くこともしなかったのに、今ではボールを投げたらキャッチして投げ、ボールを蹴ると蹴り返す。話せなかったのに、今は口を一生懸命開けて「あーりーがーとー」。その表情がかわいい。一人の彼は、人との会話がなかなか成立しないが細かいタワールの絵を描くのが好きで、無心に時には机に落書きした。「ももいるクローバーZ五人！男！」と、わざと違うことを言って私を笑わせたり、アイドルの歌を歌ったり……。家への送りは彼との楽しい時間。ある日、家に着くと「就職先が決まったんです。お世話になりました」と、お母さんが言われ胸が熱くなった日、それが彼との最後の日だった。皆いつかはこの施設から旅立つ。その時に少しでも生きる力が増えていてほしい。種から芽を出し、精一杯太陽の光に向かって伸びていつてほしい。そう願っている、私は今日も子ども達に元気をもらっている。 森 志穂



母のデイサービス利用の合間に自分の時間が持てるようになりました。以前から興味のあった水墨画を習い始め、早、五年が過ぎました。安達先生や教室の皆様にご指導・助言をいただき、楽しく続けることができて感謝しています。今では生活の一部になっています。墨の濃淡を描くのは難しく、筆の水分が多すぎて、絵がにじんでしまいくよく失敗しますが、出来上がった作品を見ると感慨もひとしおです。これからもマイペースで納得のいく作品が出来るよう練習したいと思っています。春寒し落款少しかすれをり



八女市室岡  
松尾 美喜

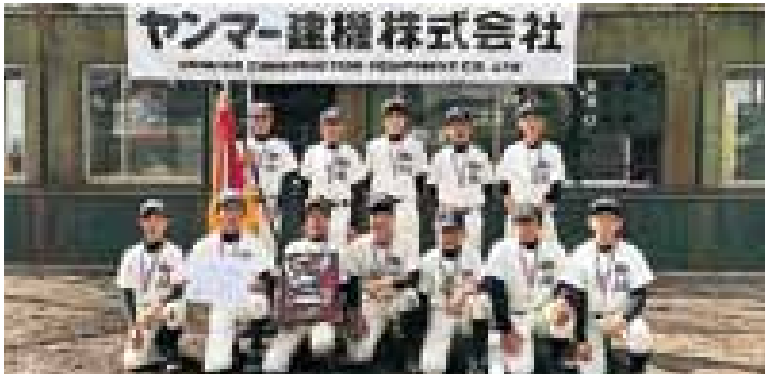
看護学校の「働き方改革」⑫

今年の5月から新しい元号に変わります。4月が平成最後の月になりますが、新聞やテレビを見て平成時代を振り返る特集が多く目につき、私自身過ぎた日々を懐かしく思い起こしています。この地域に准看護学院として開校したのは昭和45年で、まもなく半世紀を迎えようとしています。平成7年には、社会の需要に応え看護科を併設、名前も「八女筑後看護専門学校」としてスタートし、平成の四半世紀が過ぎました。医療環境も目まぐるしく変化し、先輩、諸先生方が築かれたこれまでの実績を守り育てるべく教職員一丸となって励んできました。さて4月から、「働き方改革」がいよいよ動き出します。少子高齢化が及ぼす人材不足の中で、時間外労働や年休消化などにどう対応していくか頭を痛めるところです。魅力ある学校として生き残る為には、教育内容を見直し改革は喫緊の課題です。今後は人工知能を持つロボット導入で医療が大きく変わること

は必至です。更に外国人就労者を看護や介護の分野で受け入れるなど、課題は多々あります。看護学生は忙しく、特に実習中には勉強や課題に追われ睡眠時間も十分に取れない状態で、指導する教員も学生達と共に時間との闘いを強いられています。「働き方改革」に向け現状を変えゆとりのある教育を目ざすには、何かを削らなければならないのは当然で、話し合いの場で色々と意見は出ますが、平行線で終わることが多く、未だ模索している状況です。人と関わる職業であるからには何かを犠牲にすることは不可能です。「手を抜く」ことが許されないことだからです。それに最低限看護師の資格試験をクリアしないことには看護の道は開けてきません。木々の緑も鮮やかに、色とりどりの花々が咲き乱れる春、これまでの重いコートを脱ぎ捨てて、思い切って時代に合わせていくことがまずは必要だと思っています。副学校長 高治 智美

第23回矢部川交流中学軟式野球大会開催

ヤンマー建機杯第23回矢部川交流中学軟式野球大会が4月13日(土)・14日(日)・20日(土)、福岡県筑後市・八女市・広川町・柳川市・みやま市・大牟田市の各教育委員会の後援とヤンマー建機株式会社の地域支援活動の特別協賛を頂き、本年は31チームの参加で開催します。みなさんの応援をお願いします。開会式は4月13日(土)8時30分よりヤンマー建機野球場で開催します。



写真は昨年第22回の優勝校  
柳城中学校(柳川市)

| Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  | Ⅲ 八女市 |  | Ⅲ 大牟田市 |  | Ⅲ 柳川市 |  | Ⅲ 筑後市 |  |
|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|
|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-------|--|-------|--|